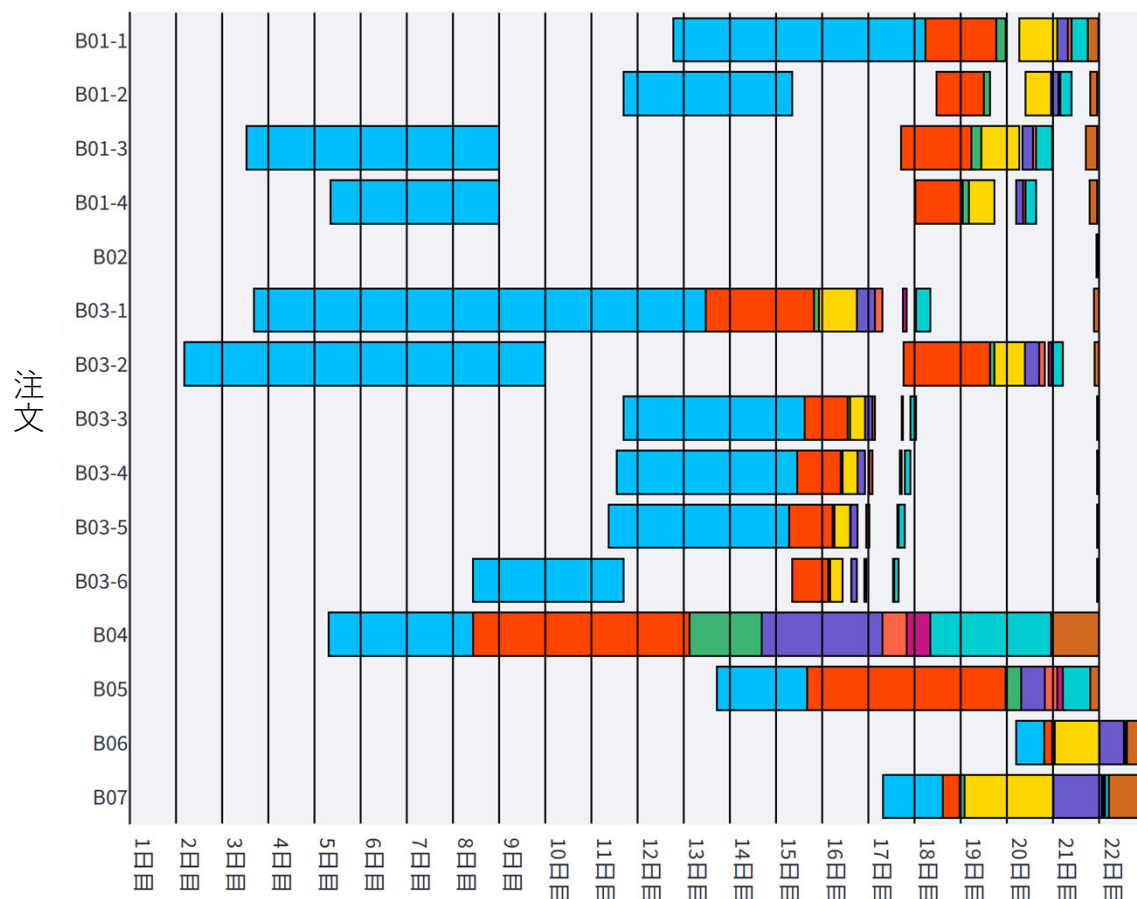


作業着手時期決定に対する数理最適化の適用

数理最適化に関する技術を用いて生産スケジュール立案プログラムを開発しています。注文数や工程が多いので、上の方法とは異なる方法を用いて、より短時間でより望ましいスケジュールを立案することを目的としています。



本研究の対象企業：

複数の工程を経て完成する製品を製造する工場が対象です。手作業で行う工程や特別な機械を使う工程、一部の作業員しか担当できない工程、その日作業を行う前には準備作業が別途必要になる工程など、さまざまな工程があります。

望ましいスケジュールとは：

注文には納期が定められています。早く着手して早く製品が完成しても、納期まで完成品を保管する必要があります。納期は遵守した上で、できるだけ納期に合わせて完成するように、注文を着手する生産スケジュールが望ましいです。

本研究のねらい：

作業員の担当可能工程や出勤状況、工程の特徴などを考慮して、できるだけ望ましい生産スケジュールを、できるだけ短い時間で出力するプログラムを開発しています。数理最適化の分野で研究されている様々な手法を検討しています。

本研究は、(一社)神戸市機械金属工業会 [神戸エアロネットワーク](#)との共同研究です。